

6月7日(月) 全校朝会

おはようございます。

夏休みまで約1か月半です。梅雨は開けていませんが日差しは夏です。

今は大切なマスクですが、暑さ対策も大切です。自分の体調に合わせ、体育の時などは、外すときと着用の時の判断を、しっかり行ってほしいと思います。

さて、皆さんは、王 貞治さんという野球選手の名前を知っていますか？

ホームラン 868 本という世界記録を残し、我が国の国民栄誉賞受賞者第一号にもなり、プロ野球監督にもなった野球選手です。

以前、王監督が茶道や日本舞踊の家本さんとお話をされた時「一流の野球選手か、将来 一流になる選手かを見分ける方法は簡単です。その選手のユニフォーム姿を見るとわかります。ユニフォームが体になじみ、よく似合う選手は一流選手の共通点です。」とっていました。

日本舞踊の先生も「そうですね。和服が似合う人は踊りも一流ですし、基本に沿って正しく着ているので、踊り終わっても裾が崩れたりしないものです。」と返事をされました。

さて、児童生徒の皆さんは、咲洲みなみ小中一貫校の服を着て学校に来て、体育の時は体操服に、部活動ではユニフォームに着替えます。たとえば、試合や大会で、ボタンなどを留めていなかったり、スパイクのかかとを踏んづけていたら、ケガにつながるどころか、出場もできなくなります。

スポーツの時に着るユニフォームが、競技場で着るユニフォームなら、皆さんが今着ている服は、学校という学習の場で着るユニフォームです。

そのユニフォームが乱れていたら、学習成績も上がることはありません。

先生が、「服装を正しましょう」というのは、試合の時などに「きちんとユニフォームを整えましょう」と言っているのと同じです。

先生は、「ユニフォームが似合う選手になってほしい」という気持ちで、学校に着てくる服の似合う児童生徒になってほしいと思います。

服装なんて関係ないのではなく、どんな世界にも、その世界共通のユニフォームがあります。一流のコックさんは、コックとしての制服が大変似合っていますし、だらしのない着方なんかしていません。素晴らしいお医者さんも、そうですし、消防士さんやお巡りさんのきちんとした制服姿は見事ですね。

学校の制服は、学習の場としてのユニフォームなんです。

暑くなってきましたが、季節やその日の気候に応じて、いつも自分自身で点検して自分のユニフォームを整えてください。

以上